

# お慶びを申し上げます

新年あけましておめでとう  
ございます。  
平成20年の初春を皆様と  
もに迎えることができました  
ことを大変嬉しく思います。

平素より町政に対して温か  
いご理解とご協力を賜り、心  
から厚くお礼を申し上げます。

私も、皆様から町政を付託  
されたのが平成17年3月、総  
合的な判断から副町長（当時  
は助役）を置かず、3年目の  
春を迎えたところです。

この間、「どのような時代  
になろうとも発展性のある日  
本海に輝ける島」を目標に、  
また同時に町の財政立て直し  
を至上命題として全力を傾け  
てまいりましたが、本年は総  
仕上げの年、さらなる前進を  
目指してまいりますので、な  
お一層のご理解とご支援をお  
願い申し上げます。

昨年を顧みますと、地球温  
暖化の影響でもありましょ  
うか、台風や低気圧、そして地  
震など国内外問わず、自然災  
害によって大きな被害も出  
ております。

幸いにも島への影響は少な  
く安堵いたしておりますが、  
島周辺では7月の低温や秋以  
降での高海水温などによって  
農漁業を営まれた方々や観光  
関連の皆様には少なからず影

響を与えたものと思えます。  
明るい話題もございました。  
青苗中学校野球部のみなさ  
んが36年ぶりに全道大会への  
出場を果たし、また、同校並  
びに奥尻中学校卓球部・陸上  
部の全道大会出場、奥尻高校  
野球部では地区大会決勝戦へ  
の進出など、大いに活躍した  
島の生徒達。

故郷おくしりの未来を担い、  
背負うであろうみなさんの成  
長を期待いたします。  
奥尻高校は開校30周年を迎  
え、関係者出席のもと記念式  
典も行われました。

スクーバクラブの実践など  
地域に根ざした高校、島の未  
来、日本の未来を託す人材の  
育成におお一層尽くされます  
ことを願っております。

さて、水産業の昨年の水揚  
げ高（11月時点）は、主要な  
魚種であるイカ漁、ホッケ漁、  
ウニ漁、ナマコ漁などに支え  
られる状況に変わりはなく7  
億3千万円、前年より1億4  
千万円下回り、加えて異常と  
も言える燃油の高騰などから  
漁家の経営環境は非常に厳し

い状況にあります。  
しかし、自然豊かなわが島  
都会の消費者が求めている安  
心・安全な食、魚貝類を提供  
できる優位性はわが島にあり  
ます。

とくに、本年は北海道庁並  
びに北海道栽培漁業振興公社  
とともにナマコ資源増大対策  
として、北海道で唯一試験放  
流場所に選定された本島周辺  
で大規模なナマコの栽培育成  
と放流事業を、漁業者のみな  
さんと一緒に進めてまいりま  
す。

また、離島漁業再生交付金  
などを活用し、資源を守り、  
生産性を高め、鮮度保持に努  
めながら消費者に喜ばれる魚  
貝類の提供、島の漁業再生に  
努めてまいります。

農業においては、稲作と立  
茎アスパラ栽培に肉牛飼育を  
組み合わせた農業経営は着実  
に成長を見せております。

本年も肉牛飼育頭数の拡充  
を支援し、さらには、農産漁  
業活性化プロジェクト支援交  
付金を活用し、農業生産法人  
が進める「ぶどう栽培・ワイ

ン醸造施設整備」を支援して  
まいります。

わが国離島では例がないで  
あろう「ぶどう栽培・ワイン」  
島の農業に新境地を開く、島  
再生への大いなる挑戦です。

みなさんの応援をよろしく  
お願いいたします。

一方、観光客入り込み数は  
4年連続の減少となりました。  
厳しい観光時代を迎えてお  
りますが、観光客による経済  
効果（一人の観光客の効果は  
2万円と試算）は観光に携わ  
るみなさんのみならず、魚介  
類、農産物、商店や飲食業す  
べての産業に波及されるもの  
です。

また、交流人口の拡充や移  
住対策、言い換えると総合産  
業そのものなのです。

島人として、迎え入れる心、  
おもてなしの心、このことこ  
そ奥尻島観光再生の基本とな  
りましょう。

昨年10月、北海道知事から  
「地域再生チャレンジ交付金」  
事業の採択を受け、予定3年  
間ではありますが、母体とな  
る「奥尻島地域再生プロジェ

# 謹んで新年の

## 「おくしり」は自分らの力で



### 奥尻町長 和田良司

クト推進協議会」も設立されました。

観光協会・旅館組合など関係団体の連携はもとより、町のみなさんの協力支援をいただき観光客誘致になお一層努めてまいります。

町の財政運営でございますが、これまでも移動町長室において、また、町の広報紙などで厳しい町の財政内容は説明をいたしました。が、国からの地方交付税削減は続き、な

お厳しい財政運営が想定されました。

昨年4月、夕張市は財政破綻から再建期間18年という長く厳しい時代に入りました。

企業でいえば倒産であり、高齢化の著しい夕張市にとっでは、地方自治体としての権利を剥奪されたと同じようなものであります。

こうした厳しい財政環境にある市町村はとくに過疎、山村、離島に多く、わが町も同様、財政危機にあります。

政府・与党は、こうした財政状況が悪化している自治体を再生させる手法として、新財政健全化法（財政再生法）を定めました。

町のすべての会計を一本化する決算内容をもって再建団体の判断がなされますが、離島であるわが町は他の町村にない行政事情や単独での病院運営事業などを抱えております。

私は、財政立て直しへ「奥尻町行政改革実行プラン・平成18年3月策定」を基本に進めてまいりました。

この間、すべての事務事業

のさらなる見直し、可能な限りの能率・効率を図り、また、町のみなさん、議会議員のみなさん、職員のみなさん、すべてのみなさんのご理解とご協力を求めてまいりました。

これからも地方財政の方向を見据えながら公共事業への依存体質からの脱却、自立できる経済活動を誘導し、身の丈にあった財政運営に努めることといたします。

どうか町民皆様におかれましても、自らの住むこの島「おくしり」は自分らの力で守る、築くという意識を高めていただき、ともに汗を流し、知恵を出し合い、町づくりに取り組むことを願っております。

私は、故郷再生の舵取り役としてその先頭に立ちます。この一年、皆様が健康で心豊かに安心できる島でありますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

平成20年 元旦

会 長	長谷川 博
事務局長	田中 敦
他 職 員	一 同

### 奥尻町農業委員会

事 務 長	土 敏
他 職 員	一 同

院 長	泉 允 正
副 院 長	柴 田 一 史
歯 科 医 長	渡 邊 久 代
薬 局 長	渡 邊 久 代
診療放射線室長	土 敏 明
看 護 師 長	土 敏 明
事 務 長	土 敏 明
他 職 員	一 同

### 奥尻町国民健康保険病院

総務課長	野口 光明
住民課長	竹田 彰
産業建設課長	佐藤 仁
企業管理課長	工藤 勇
空港管理事務所長	紀伊国 宣
兼青苗支所長	白田 男
環境センター所長	白田 男
出納室長	荒谷 満
他 職 員	一 同

